



月号

ヤングミセス通信

農産物の出荷先は、個々の経営で様々です。近年、農産物の流通ルートが増える中、農協出荷^{※1}が6割強と最も多く、出荷場や選果場に集められた農産物の約8割は、「卸売市場」を経由して小売店や外食産業等へ届けられます。

今回は、農産物の流通の中で重要な「卸売市場」をピックアップします。

テーマ

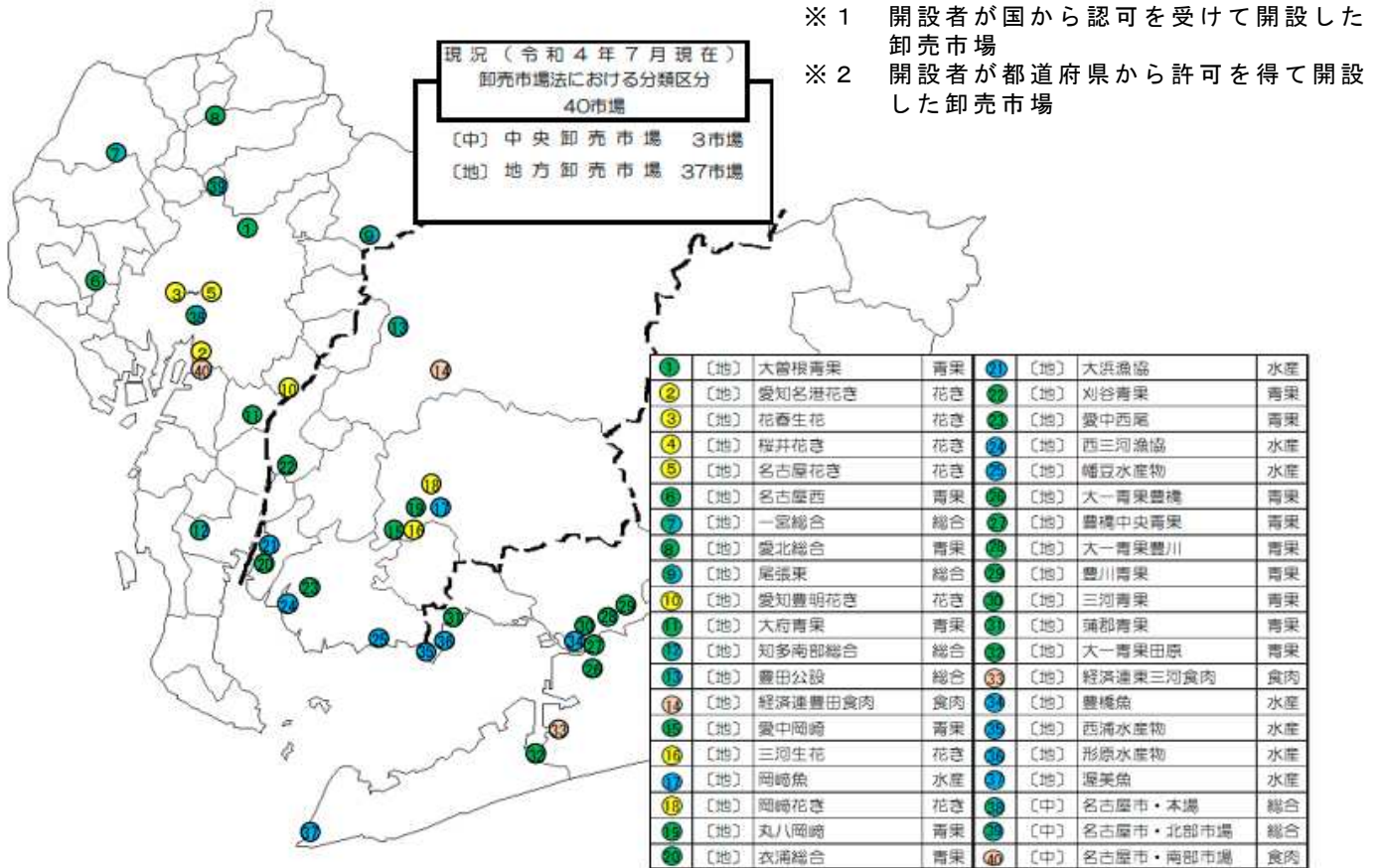
「卸売市場の仕組みを学ぼう」



1 卸売市場とは

卸売市場とは全国から集められた青果物（野菜、果物）、水産物、肉、花を取引し、小売店（八百屋、スーパーなど）、外食事業者（レストランなど）、加工業者へ販売する拠点です。

卸売市場は卸売市場法に基づき、国や都道府県の認可を受けた自治体が運営しています。令和4年7月1日現在、愛知県内には、「中央卸売市場^{※1}」が3市場、「地方卸売市場^{※2}」が37市場、計40市場あります。



※1 開設者が国から認可を受けて開設した卸売市場

※2 開設者が都道府県から許可を得て開設した卸売市場

図 県内卸売市場の位置

2 卸売市場の役割と機能

(1) 役割

消費者に対する迅速で安定的な生鮮食品等の提供



生産者に対する確実で速やかな販路の提供



小売業者等に対する取引の場の提供



現在、産直取引、直売所、ネット販売など卸売市場を経由しない生鮮食品等の増加により、卸売市場を経由する割合はピーク時に比べ**減少傾向**。しかし、**青果、水産物、花きの卸売市場を経由する割合は50%～80%**（H27 データ 農林水産省食品流通課調べ）と高く、卸売市場は食品流通において**重要な役割**を果たしています。

(2) 機能

集荷（品揃え）・分荷機能

全国各地から、食生活に必要な青果・水産・食肉などの多種多様な商品を集荷するとともに、需要者のニーズに応じて、迅速かつ効率的に、必要な品目、量に分荷配送を行う機能。

価格形成機能

需給を反映した迅速かつ公正な評価による透明性の高い価格形成をする機能。

代金決済機能

販売代金の迅速かつ確実な決済を行う機能。

情報受発信機能

需給に係る情報を収集し、川上・川下にそれぞれ伝達を行う機能。

中央卸売市場では上記のような4つの機能を有しており、消費者にはその需要に応じた生鮮食料品を安定して供給し、豊かな食生活を支え、生産者には継続的で安心できる販路を提供しています。

中央卸売市場は、消費者のニーズの変化や経済社会の構造変化、食の安全・安心への要請に対応し、大消費地における生鮮食料品の中核的な流通拠点として、今後とも重要な役割を果たしていくことが期待されています。

3 東京都中央卸売市場での愛知県産農産物

288億円
(シェア4.6%)

第7位

2021年産の愛知県産農産物の動向
東京都中央卸売市場（9市場）での
愛知県産農産物の総取引額と47都道府県中の順位

キャベツ
全国2位



トマト
全国3位



おおば
全国1位



☆出典

2020年農林業センサス結果の概要（農林水産省）、卸売市場情報（農林水産省）、愛知県内の卸売市場について（愛知県食育消費流通課）、あいち農産物生産流通レポート（愛知県食育消費流通課）、東日本情報（愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ）、市場の概要（名古屋市中央卸売市場）、